

## 道徳的諸価値の理解（価値理解・自己理解・他者理解）を促す放送学習

山口県美祢市立淳美小学校 教諭 天田 和男

### 小学校5年 道徳 ココロ部！

#### 番組の特徴

『ココロ部！』では、部長が用意する悩ましいピンチに、二人の部員が協力して立ち向かっていく。「自分ならどう考え、どう行動するか？」を友達とじっくり話し合うことで、自分の生き方について考えを深めることができる番組である。

#### 研究の概要

番組の視聴、自分の立場を明確にした意見交流、中心発問、ねらいとする道徳的価値についての協働解決という授業の流れにより、児童の道徳的諸価値に対する理解の変容や深まりについて調査した。その結果、自分自身の気持ちにあてはめて考える項目や、じっくりと考えて、自分の考えを深める項目に向上が見られた。また、発言や記述内容から道徳的諸価値への理解の深まりも確認できた。

#### 授業デザイン（1 単位授業時間）

主題名：役割を果たすためには

ねらい：役割を遂行しようとする、親友の願いを裏切ることになる場面について考え、役割を遂行する難しさを理解すると共に、それでも自分の役割を果たそうとする態度を養う。

価値の確認

「6年生になったら頑張りたいこと」についてのアンケート結果を基に、リーダーの役割や、それに伴う責任について考える。

番組視聴

『ココロ部！』  
「最後のリレー」

意見交流

主人公の葛藤場面について、自分ならどうするかについて、少人数で意見交流する。

課題把握

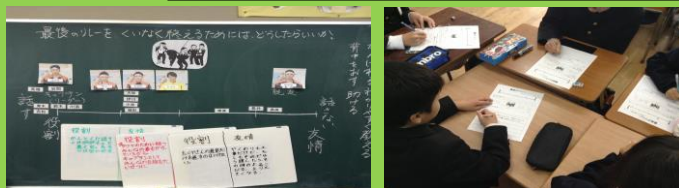
中心発問 「キャプテンとして、最後のリレーを悔いなく終わるにはどうしたらいいだろう」

協働解決

主人公はキャプテンとしてどう判断するべきか少人数での話し合いの後、クラス全体で考える。

まとめ

今日の学習から、役割や友情について考えたことをワークシートに記入する。



#### 番組や関連動画クリップの活用意図

##### 課題場面の把握

放送番組は動きや音声により、多くの児童にとって内容が理解しやすく、道徳的問題がある場面やその課題を把握することに有効である。

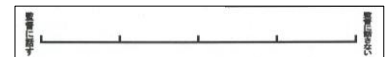
##### 意見をもつための番組視聴

ストーリー、演技、BGMなどの演出により心が揺さぶられたり、登場人物に感情移入したりすることで、自分事として捉え、どの児童も自分なりの意見をもつことができる。そのため多様な意見に触れながら道徳的諸価値について多角的に考え、自分の生き方について考えを深める授業展開が可能となる。

#### 思考の可視化にかかわる教師の工夫

##### ワークシートの心情線の活用

ワークシートの心情線に自分の立場をマークすることで自分の立場を明確にした。また、その心情線を示しながら意見交流することで、多様な考えがあることに気付かせた。



##### 板書の構造化とネームプレートの活用

中心発問後、黒板にネームプレートを貼る活動を通して、課題に対して主体的に関わるきっかけとした。また全員の立場が可視化されることで、同じ立場同士や、違う意見同士など様々な対話を生むことができた。更にwebサイトに用意されている登場人物の写真や、重要場面のイラストを活用して、価値対立を黒板に構造的にまとめ、クラス全体の思考の流れや深まりを視覚的に捉えられるようにした。

#### 生き生きと学ぶ子どもの姿

##### 子どもの自己評価（ワークシートの振り返り）から

- 「親友がよければ全てよし」ではないと気付くことができた。
- キャプテンとしての役割と親友との友情で迷った。勝つことが全てではないと思うが、みんなの意見を大切にすることが、キャプテンの責任だと思った。

##### 評価シートから

実践前後で有意差が見られた項目は以下の通りである。

- 自分自身の気持ちにあてはめて考えることができますか。
- じっくりと考えて、自分の考えを深めることができますか。

#### 実践を終えて

番組を活用することで、もう少しで学校のリーダーとなる自分とキャプテン役のコジマを重ね合わせて自分事として考えることができた。そのため道徳的諸価値について活発な話し合い活動が行われ、自分の生き方について考えを深めることができた。本実践のように意見交流→中心発問→協働解決という授業の流れは、番組でも読み物教材でも活用できる。道徳の教科化に向け、汎用性のある授業デザインの研究を更に進めていきたい。